

(独) 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構の  
理事長となるべき者の選任理由

本法人は、旧日本郵政公社から承継した郵便貯金及び簡易生命保険を適正かつ確実に管理し、これらに係る債務を確実に履行するとともに、郵便局ネットワークの維持の支援のための交付金を交付することにより、郵政事業に係る基本的な役務の提供の確保を図ることを目的とする法人である。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な経営方針を立案し、総務大臣の定める中期目標及びその達成のために総務大臣の認可を受けて機構が定める中期計画に基づき、理事及び業務を担う4部を統率し、法人全体の運営管理業務を総理することが求められる。

白山昭彦氏は、長年、三井住友信託銀行等に勤め金融関係の見識も広く、建設省への出向経験や金融庁対応を行う業務部長を務めるなど折衝経験も豊富である。また、三井住友信託銀行在籍時は執行役員及び取締役を、東西土地建物においては社長を、それぞれ務めるなど組織をまとめるガバナンスについても豊富な経験を有している。

これらの見識、経験や能力等を踏まえて、本法人に求められる機能や役割、有識者の意見などを総合的に判断した上で、任命権者である総務大臣が選任したものである。